

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H27年度末現在）	進捗状況（H28年度末現在）	進捗状況（H29年度末現在）	進捗状況（H30年度末現在）	地区振興計画	H28当初予算	H29当初予算	H30当初予算	H31当初予算	完結分
H25	1	水引	通学路に関わる危険道（県道京泊大小路線）の歩道の設置、側溝の補修、整備について	建設政策課	歩道の設置については、どうしても用地の相談も必要になってくるかと思う。これについては、別途の形で県へ要望している。 できるだけきれいな形で4月2日の就航の日を迎えたいことを県へ要望したい。	・側溝を含む歩道の整備については、県に要請している。 ・側溝の浚渫、路肩の土砂撤去については就航日前に撤去していただいたところである。	・側溝を含む歩道の整備については、今後も県へ要望してまいりたい。								○
H25	2	湯田	市道 前田線について	建設整備課	三田・前田線については、土地の権利調査も実施した。相続が50名を超えるような土地があったり、整備に制約があり、これまで手をつけられなかった。再度、現地を回り、山手側に土側溝等があったので、そちらの方の擁壁を整備したり、側溝を整備したりすることで、既に現地には工事が入っている。 また、路面も非常に悪い部分があるので、4月になったら舗装工事の計画もしている。抜本的な拡幅改修はできないが、維持的な補修・整備で少しでも解消したい。2～3日中には第1段階の工事が終了することで、御確認をお願いしたい。										○
H25	2	湯田	市道 前田線について	建設維持課	三田・前田線については、土地の権利調査も実施した。相続が50名を超えるような土地があったり、整備に制約があり、これまで手をつけられなかった。再度、現地を回り、山手側に土側溝等があったので、そちらの方の擁壁を整備したり、側溝を整備したりすることで、既に現地には工事が入っている。 また、路面も非常に悪い部分があるので、4月になったら舗装工事の計画もしている。抜本的な拡幅改修はできないが、維持的な補修・整備で少しでも解消したい。2～3日中には第1段階の工事が終了することで、御確認をお願いしたい。										○
H25	3	西方	移動販売の導入について	商工政策課	お出かけ支援券、デマンド交通の説明。 「買物不便地域支援モデル事業」の説明。	・昨年度実施地域を拡大し、商工会高城支所管内において、移動販売を実施しており、利用者も多く、順調である。 ・一部、販売場所や販売時間等についての要望もあるので、対象自治会と調整し、利用促進を図っていく。	・平成25年2月より「買物不便地域支援モデル事業」を実施している。 ・西方地区は平成26年6月より4自治会を対象に実施、利用者は年々増加しており、平成28年度は延べ1,217人の方に利用をいただいております、大変喜ばれている。	・平成25年2月より「買物不便地域支援モデル事業」を実施し、移動店舗を運行している。 ・西方地区においては4自治会を対象に実施しており、多くの方にご利用いただき、大変喜ばれている。 ・モデル事業については、平成30年2月17日で5年の期間が経過し終了したが、引き続き民間事業として行われている。他の事例等情報収集を行いながら、今後は民間主導による買物支援事業の仕組みについて各機関等と協議してまいりたい。						○	
H25	その他	水引	唐浜港公園の砂飛散	林務水産課	今後検討したい。										○
H25	その他	水引	日向迫疎水水路整備について	耕地課	おれんじ鉄道の横に土水路があるが、青線が通っていない。溝の部分が鉄道側の敷地にある関係上、通信ケーブルが入っているため、機械で掘ることを鉄道事業者側からさせてもらえず、手掘りをしなければならぬ。 今度、おれんじ鉄道にも出向き、何か方策がないか、また、国道事務所にも出向き、国道にバイパスみたいなものを入れてもらえないか話をしていきたい。										○
H25	その他	水引	県河川の寄洲について	建設政策課	県の河川であるので県にお願いしてきた。県からは、逆に市も一緒になって対策をするということになった。河川愛護として、県は機械・費用を出し、市は揚げた水草を運搬・処分する等のため、水草対策の検討委員会を立ち上げた。県北薩振興局の建設部・農政部、市の建設部・農林水産部、もう少し話を詰めてから地元にも入っていただき、そのような形をとっていきたい。県も重機を入れるところまで、動き出したので、もう少し待っていただければ具体的な方策を地元の皆さんにお示しできる。	・平成26年度は漁業関係者等で水草の除去を実施した。平成27度は林務水産課で、水草の状況を経過観察している。 ・平成27年度に原田川の寄洲除去を県が実施しており、今後も状況を見ながら要請していきたい。								○	
H25	その他	水引	草道川について、旧県道で、浜田公民館から踏切を越えて、江ノ口に行くところの境までの間の道路が非常に低い。	建設政策課	改修が一部できていない、急に下がっている部分であると思う。昨年も県の担当課の方に同行してもらい検討をお願いした。再度確認したい。	・御指摘のあった部分については、地権者との協議等、県・市で連携を取りたい。	・同左	・同左	・県の担当の方と現場を確認した。県において令和2年度の県単事業採択を目指している。						

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H27年度末現在）	進捗状況（H28年度末現在）	進捗状況（H29年度末現在）	進捗状況（H30年度末現在）	地区振興計画	H28当初予算	H29当初予算	H30当初予算	H31当初予算	完結分	
H27	1	水引	水引地区の公民館組織を自治組織として位置づけることについて	コミュニティ課 (現 地域政策課)	本市の自治組織の体系としては、自治会と地区コミュニティ協議会の大きく2つがある。平成16年に市町村合併を契機として、名称を「自治会」に統一し、本市独自の組織である「地区コミュニティ協議会」の2つを位置づけている。また、平成20年に、議会の議決を得て、自治基本条例を制定している。この中でも改めて自治組織の体系について、「地区コミュニティ協議会」と「自治会」を明確に条例の中に定めた。 全市的に統一した対応が必要となることから、「公民館組織を自治会と同様にする」ということについては、難しいということをお理解していただきたい。地区の発展のため、より良い体制づくりについて、公民館、関係する自治会、地区コミュニティ協議会と更に協議を重ねていただければと考える。 その中で、市として対応できる部分があれば、検討を加えたいと考えている。決して、公民館を認めないということではない。大事な組織として承知しているの、御理解をお願いしたい。											○
H27	2	湯田	活気あるまちづくり	観光・シティ&課	市としても、これまで協議会の設立や定例会や各種研修会に出席をさせていただいている。これまでも連携・協力をとってきているが、今後も連携を深めてまいりたい。 平成28年4月からはよか湯協議会を受け入れ団体として、地域おこし協力隊員の配置を考えている。新規事業として、頑張る地域商店街支援事業として、新たな補助制度を創設する。「旅」、「食」、「品」の商品開発を通して、温泉街の活性化に取り組んでまいりたい。更に、JR九州のクルーズトレイン「ななつ星in九州」の薩摩高城駅の停車については、市としても湯田地区コミュニティ協議会や湯田口20日会等と実行委員会をつくっている。海岸の清掃活動や花壇の整備、横断幕・のぼり旗・手旗による歓迎・見送りや特産品の販売、川内高城温泉をはじめとする観光パンフレットの配布等、地元の皆さん方と一緒に、本市の魅力発信や地域の活性化を図ってまいりたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでと同様、せんだい高城温泉よか湯協議会と連携・協力しながら観光地域づくりを行ってまいりたい。</li> <li>その中で、地域おこし協力隊員もよか湯協議会を受入れ団体として募集中である。</li> <li>今後の活動方針としては、薩摩高城駅前後や駅ホーム等でのマップ配布や、バイパス用の温泉トンネルに情報発信用の看板を設ける等が計画されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>せんだい高城温泉よか湯協議会と連携・協力しながら観光地域づくりを行うとともに、地域おこし協力隊員2名の配置を行い商品開発等を実施しているところである。</li> <li>国土交通省の地域資源を活用した観光地魅力創造事業「薩摩川内市川内高城温泉観光拠点化促進事業」において、観光受入関係者ヒアリングを実施し、川内高城温泉における新たな観光資源の発掘を行った。実践内容としては、まちあるき体験プログラムの開発及びモニターツアーの開催を展開した。</li> <li>明治維新150周年を迎えるにあたり、「薩摩川内市で明治維新150年をめぐるマップ」を作成し、そのマップの中で、逸話に見る西郷隆盛と川内高城温泉についても触れ、観光PRに努めている状況である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>せんだい高城温泉よか湯協議会と連携・協力しながら観光地域づくりを行うとともに、地域おこし協力隊員2名の配置を行い商品開発等を実施しているところである。</li> <li>明治維新150周年で大河ドラマ「西郷どん」が放映されるなか、市内外から観光客を呼び込む新たな資源として「西郷隆盛像」を緑の地入口に建立し、併せて川内高城温泉中心部に設置されている西郷像をリニューアル整備した。</li> <li>大河ドラマに出演された、塚地武雅氏らキャストを招き、地元住民らと除幕式を行い、その内容が「西郷どん」の公式インスタグラム（10万人フォロー）に掲載された。</li> <li>明治維新150周年を迎えるにあたり、「薩摩川内市で明治維新150年をめぐるマップ」を増刷し、そのマップの中で、逸話に見る西郷隆盛と川内高城温泉についても触れ、観光PRに努めている状況である。</li> </ul>								
H27	3	西方	地域防災対策強化について (井高踏切の拡幅について)	建設整備課	市を縦断している鉄道の中で、井高踏切の改良は、優先順位も高いところに登載されており、私どもも十分に認識している。 現在、網津踏切を改修している。網津の場合、改修工事だけでも9千万円程かかっている。西方の踏切については、複線であるので、その2倍程度の費用を予測している。国の補助事業を利用しなければ、市単独事業だけでは難しいので、採択に向けて準備していくこととしている。国道3号から踏切までの間で狭い部分もある。手始めに、新年度に早速交渉させていただき、土地を確保してから、鉄道事業者や国に、市としての姿勢を見せながら、採択に向けて作業を進めていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>国道3号から肥薩おれんじ鉄道までの区間について、地権者等の調査を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国道3号の鋭角部分について、測量設計業務委託、公安委員委員会との協議を実施し、一部用地を取得した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国道3号の鋭角部分について、工事発注作業を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国道3号の鋭角部分について、道路改良舗装工事を実施した。</li> <li>肥薩おれんじ鉄道との協議を行った。</li> </ul>							
H27	3	西方	地域防災対策強化について (西方川ガードレールの設置(500m)について)	建設維持課	西方川沿いの市道西方・浦川線路のガードレール設置については、昨年度地元の方から要望もあり、現地も確認している。来年度当初予算に計上することで、議会にも上程する。議会可決後の4月以降、設置はできると考えているので、よろしくをお願いしたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>H27年度はガードレールL=40mを設置済みであり、今後も年次的に整備を図ってまいりたい。</li> </ul>				○				○		
H27	他	水引	市道川底・乙須線の整備については、感謝している。 国道3号の川底も低く、水没しやすい。そこには水路と小倉川があり、おれんじ鉄道と国道の暗渠が狭いことから、冠水しやすいので、検討をお願いしたい。	建設維持課	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>H27年度に国道3号と市道川底・乙須線の交差点改良に併せ水路断面を拡大し、冠水防止対策を図ったところである。</li> <li>下流域の狭隘部については、冠水状況を経過観察しながら必要に応じ関係機関に要望したい。</li> </ul>									○	
H27	他	水引	市道川底・乙須線の整備については、感謝している。 国道3号の川底も低く、水没しやすい。そこには水路と小倉川があり、おれんじ鉄道と国道の暗渠が狭いことから、冠水しやすいので、検討をお願いしたい。	耕地課	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設維持課で、市道川底・乙須線整備の際に水路についても一部断面を大きくし整備を行った。</li> <li>また、小倉川についても県で堤防の整備を行っているの、経過を観察したい。</li> </ul>									○	

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H27年度末現在）	進捗状況（H28年度末現在）	進捗状況（H29年度末現在）	進捗状況（H30年度末現在）	地区振興計画	H28当初予算	H29当初予算	H30当初予算	H31当初予算	完結分
H29	1	水引	市道岩下・焼山線は優先度が高く、数年かけて江ノロ公民館付近までは整備されているが、そこから網津川が整備されておらず、通行に支障があり、非常に危険な状況にあるため、道路改良をお願いしたい。	建設整備課	平成20年度まで順調に道路改良工事が行われていたが、長年止まっている。これは、道路両側に筆界未定地があり、土地の買収、登記ができないことが要因で、手が付けられなかった。 現在、川に向かって右側の地権者が筆界未定地解消に向けて作業されているようであるが、左側についても解消しないことには整備は進まない。 今後も情報を共有しながら実施したいと考えている。			・地元にて筆界未定地解消に向けて作業中である。	・地元にて筆界未定地解消に向けて作業中である。						
H29	2	湯田	湯田地区が進める「活気あるまちづくり」への支援について ①薩摩高城駅の活用 地元では、ななつ星in九州の再来に備え、引き続き駅周辺の整備と美しい海岸の保全を継続し、駅まつりなどのイベント開催や肥薩おれんじ鉄道とも連携を図りながら、人が集まる駅に展開していくことを目標としている。 そこで、駅近隣の人形岩や駅周辺の海岸線、川内高城温泉などを結んだ観光ルートの設定やそのPRをお願いしたい。	交通貿易課	薩摩高城駅については、肥薩おれんじ鉄道の利用促進を目的として、地区コミュニティ協議会、ボランティア団体等が沿線駅周辺で各種イベントを実施される際の経費に対する補助制度を設けた。 色々な手段で、薩摩高城駅周辺と川内高城温泉を楽しむコースの紹介をしている。 その他、県や沿線自治体と一緒に取り組んでいる肥薩おれんじ鉄道利用促進協議会が中心となり、明治維新150周年記念に合わせ、薩摩高城駅に宣伝キャッチコピー看板設置等を行いながら、誘客に取り組んでいるところである。 いずれにしても、地元の協力を得ながら、新聞やマスコミに取り上げていただく機会を積極的に作っていきたく考えている。 最後にななつ星in九州からの評価が高かった。いずれは帰って来たいとのことだったので、それを期待しながら今後も盛り上げていきたい。			交通貿易課においては、湯田地区コミュニティ協議会が中心となり、肥薩おれんじ鉄道の観光列車「おれんじ食堂」の運行開始5周年を記念して実施した、手旗や横断幕による出迎えや見送り、特産品振る舞いを含めたマルシェ等の実施に対して「肥薩おれんじ鉄道利用促進イベント等補助金」により、経費の補助を行った。 また、肥薩おれんじ鉄道利用促進協議会で「薩摩高城駅まつり」へのイベント補助や「薩摩高城駅のキャッチコピーの看板設置」を行った。	「薩摩川内市地域公共交通だより」平成30年春号において、肥薩おれんじ鉄道利用促進協議会で平成29年度設置した「薩摩高城駅キャッチコピーの看板」等の薩摩高城駅の紹介を行った。 イベント等への助成制度として、市の肥薩おれんじ鉄道利用促進イベント等補助金や肥薩おれんじ鉄道利用促進協議会の鹿児島県肥薩おれんじ鉄道利用促進助成事業も継続しており、引き続き人が集まる駅の支援を行っていききたい。 また、肥薩おれんじ鉄道利用促進協議会等が共同で作成している肥薩おれんじ鉄道沿線ガイドマップに、薩摩高城駅近隣の人形岩や駅周辺の海岸線、川内高城温泉を掲載するとともに、薩摩川内市のホームページにも公共交通機関を利用した川内高城温泉や薩摩高城駅周辺の散策コース例を掲載しており、今後も継続してPRを行いたい。				○	○	
H29	2	湯田	湯田地区が進める「活気あるまちづくり」への支援について ①薩摩高城駅の活用 地元では、ななつ星in九州の再来に備え、引き続き駅周辺の整備と美しい海岸の保全を継続し、駅まつりなどのイベント開催や肥薩おれんじ鉄道とも連携を図りながら、人が集まる駅に展開していくことを目標としている。 そこで、駅近隣の人形岩や駅周辺の海岸線、川内高城温泉などを結んだ観光ルートの設定やそのPRをお願いしたい。	観光・文化・福祉課	これまで、各種取り組みを行っているところである。 明治維新150周年を迎えるに当たり、湯田地区に西郷像を設置するとともに、関連マップを新たに作成することとしている。 このように、新たな素材も出てきているので、せんだい高城温泉よか湯協議会をはじめとする関係者の方々と連携しつつ、西郷さんとゆかりのある川内高城温泉のPR等を積極的に進めて参りたいと考えている。			国土交通省の地域資源を活用した観光地魅力創造事業「薩摩川内市川内高城温泉観光拠点化促進事業」において、観光受入関係者ヒアリングを実施し、川内高城温泉における新たな観光資源の発掘を行った。実践内容としては、まちあるき体験プログラムの開発及びモニターツアーの開催を展開した。 加えて、明治維新150周年を迎えるに当たり、「薩摩川内市で明治維新150年をめぐるマップ」を作成し、そのマップの中で、逸話に見る西郷隆盛と川内高城温泉についても触れ、観光PRに努めている状況である。	・明治維新150周年を迎えるに当たり、「薩摩川内市で明治維新150年をめぐるマップ」を増刷し、そのマップの中で、逸話に見る西郷隆盛と川内高城温泉についても触れ、観光PRをおこなった。 ・薩摩川内市観光物産協会と連携し、わくわくバス旅を実施し、川内高城温泉での昼食などを盛り組んだバス旅を実施した。						
H29	2	湯田	湯田地区が進める「活気あるまちづくり」への支援について ②農産物地産地消の拡大 湯田地区振興計画に掲げている「空き家改築事業」として、市からの助成を受けながら、「湯田ん蔵」を昨年6月にオープンし、カフェを中心に農産物販売も行っている。 高齢者向けに開催しているコーディネート事業・園芸サロン（市農政課指導）で技術を習得してもらい、家庭菜園で楽しく・無理なく栽培した減農薬農産物の販売を充実・拡大させていくために、引き続き、園芸の技術指導や更なる「湯田ん蔵」施設のPRをお願いしたい。	農政課	本市では、これまでコミュニティ協議会等からの講習会の要望に対し、生産・販売等の指導を行っており、湯田地区においても「園芸サロン」を開催された折に、野菜の栽培講習会を開催してきた。 今回、湯田地区において「湯田ん蔵」がオープンしたが、販売を充実・拡大させていくために、市としても引き続き、要望に応じた園芸の技術指導など支援して参りたい。 また、昨年度、平成29年度から平成33年度までの5カ年を計画期間とし、「第2次薩摩川内市食育・地産地消計画」を策定したところであり、「さつませんだいの“食”」を通じた健康で豊かな食生活の実現を目指すこととしている。 その具体的施策の一つとして、「市内の農産物直売所等の活性化に対する取組支援」を行うこととしている。施設のPRについても、今後、地産地消パンフレットを作成し、この中で「湯田ん蔵」も紹介掲載することとしているので、今後、PR用として活用していただきたい。 併せて、県などによる各種研修会等に参加いただきながら、消費者に好まれる安全・安心な農産物を提供できる、地産地消を担う販売拠点として機能するよう支援して参りたいと考えている。			本市では、コミュニティ協議会等からの講習会の要望に対し、生産・販売等の指導を行っている。 また、「薩摩川内市農林水産物直売所マップ」に「くつろぎの里湯田ん蔵」を掲載し、施設のPR用として直売所等に配布したところであり、PR用として活用していただきたい。 併せて、県などによる各種研修会等に参加いただきながら、消費者に好まれる安全・安心な農産物を提供できる、地産地消を担う販売拠点として機能するよう引き続き支援して参りたい。							○

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況 (H27年度末現在)	進捗状況 (H28年度末現在)	進捗状況 (H29年度末現在)	進捗状況 (H30年度末現在)	地区振興計画	H28当初予算	H29当初予算	H30当初予算	H31当初予算	完結分	
H29	2	湯田	湯田地区が進める「活気あるまちづくり」への支援について ③湯之元バイパス完成後の温泉街のまちづくり 湯之元バイパスが平成30年度中に開通することになっている。これを機に、 ①温泉街の歩行者専用道路の整備 ②温泉周辺散策道の整備 ③駐車場の整備など、温泉街の整備を進めることで、地域の活性化に繋げたいと考えているので、ぜひ市としても前向きな対処をお願いしたい。	建設整備課	湯之元バイパスは、平成31年の3月完成を目標に整備を進めている。 このバイパスが完成すると、温泉街を通っている県道東郷西方港線は市に移管され、市道として管理していくこととなっている。御要望の歩行者専用道路については、地元や事業所の車両等の交通量を把握するとともに、それに応じたカラー舗装やフラワーボットの設置等で歩行者を優先できるような取組を研究していく必要があると考えている。湯布院をはじめ、有名温泉地等の先例もあるので、県公安委員会や観光関係機関等と協議を行いながら、検討して参りたい。 また、温泉周辺散策道の整備については、現在八木商店から1号トンネルと2号トンネルの間に明かり部分があるが、ここまでの道路の測量設計を実施し、平成30年度には、用地買収や建物移転補償を実施する予定である。順調にいけば、平成31年度から工事に入っていきたいと考えている。 駐車場の確保については、トンネルを抜けた湯之元バイパス東郷側の県道東郷西方港線の廃道敷きを活用できないか、道路管理者である鹿児島県や商工観光部などの関係機関と協議を行いながら検討して参りたいので、情報提供をお願いしたい。			<ul style="list-style-type: none"> <li>建物等移転補償（工作物）1件</li> <li>多目的広場進入道路測量設計業務委託</li> <li>多目的広場進入道路CBR調査業務委託</li> <li>多目的広場進入道路建物等調査業務委託</li> <li>多目的広場進入道路工作物等調査業務委託を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>用地買収を12筆実施した。</li> <li>建物等移転補償を2件実施した。</li> </ul>				○	○		
H29	3	西方	井高踏切に係る拡幅工事の進捗状況等について。次のことについて確認させていただきたい。 ① 国道3号から井高踏切までの拡幅工事進捗状況について ② 井高踏切本体の拡幅工事の見込みについて ③ 踏切以降東側道路の拡幅工事の見込みについて ④ 今後の総合スケジュールについて	建設整備課	この件については、前回のまちづくり懇話会でも議題となっており、市議会の本会議でも質問に出たところであり、地区の最重要課題であると認識している。 ① 平成28年度に地区コミュニティ協議会の皆様の御協力により、用地買収が完了したところである。本年度、拡幅をすべく国道事務所へ申請を行っていたが、なかなか回答が得られなかった。会長方の御尽力により、ようやく回答を得ることができ、まもなく工事発注ということになっている。一部図面の修正等があるが、2月中には公告、3月には契約の運びとなる予定である。 ② 3年前に完了した網津踏切が単線だったのに対し、この井高踏切本体は複線になっている。このため、費用も倍以上かかり、市の単独事業では困難なことから、国の補助事業等を導入しなければならない。また、県内には同様の踏切の拡幅案件が多くあり、優先順位を付けて整備されるものと思われる。今後も、関係機関等と協議をしながら、採択に向けて努力したいと考えている。 ③ 幅員が狭く、離合が困難だった約60m区間を平成14年度に改良済みである。その先については家屋があり、なかなか進められなかった経緯がある。今後、踏切の拡幅の状況を見据えながら、タイミングを見て進めて参りたいと考えている。ただ、地権者の同意が最優先となるので、そのことを含めて地区の方々へ協議をさせていただきたい。			<ul style="list-style-type: none"> <li>国道3号の鋭角部分について、工事発注作業を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国道3号の鋭角部分について、道路改良舗装工事を実施した。</li> <li>肥薩おれんじ鉄道との協議を行った。</li> </ul>							
H29	他		網津の半崎川の護岸整備工事をしていただくよう要望を行った。 その際、「高江の寒水川の護岸整備工事を優先的にを行い、その後検討」という回答を得たが、寒水川の工事は大体どのくらいで完了するのか。	建設維持課	半崎川は圃場整備した地区内の準用河川であるが、平成13、14年ぐらいに要望があったかと思う。要望書では工事が中断という表現になっていたが、市としては、網津踏切から海水浴場に行く市道までを契約区間と位置付けており、いったん終了したという認識の下、本年度から高江の寒水川の工事に入っており、おおよそ5年ぐらいたる年数を要するのではと思っている。予算の問題もあるが、半崎川は普通河川として建設部で所管していることでもあるので、善処できるよう持ち帰って検討させていただきたい。			半崎川は圃場整備した地区内の準用河川であるが、平成13、14年ぐらいに要望があったかと思う。要望書では工事が中断という表現になっていたが、市としては、網津踏切から海水浴場に行く市道までを契約区間と位置付けており、いったん終了したという認識の下、本年度から高江の寒水川の工事に入っており、おおよそ10年ぐらいたる年数を要するのではと思っている。この為、寒水川の整備状況を見ながら次期整備箇所については検討したい。	寒水川の護岸整備については、平成29年度から着手し、完成までに概ね10年程度の期間を要すると考えている。半崎川においては、寄洲除去等の維持管理に努めるので、ご理解を頂きたい。							
H29	他		学校の跡地利用について、どの地域でも当初は意欲的に色々な案が出てきていたと思うが、様々な制約があり、なかなか実現できない実情があると思う。そのネックになっているものは何なのかを市の方でも検証していただき、地域住民が使いやすい制度にさせていただき、ぜひ検討いただきたい。	地域政策課 財産活用推進課	これに関しては、様々な課題や意見がある。いただいた意見等については、今後、関係課を含め、検討して参りたい。			<ul style="list-style-type: none"> <li>回答に同じ</li> <li>平成29年度に閉校跡地利用の支援制度として、地域向け、企業向けの制度を確立させ閉校所在地へ説明を行い、利活用の判断結果をいただいている地区もあることから現制度での検討をお願いしたい。</li> </ul>	閉校跡地の所在する地区コミュニティ協議会において、利活用の最終検討報告により地域では利活用しないと最終判断された。 湯田地区 H29.8.18回答 西方地区 H30.8.20回答					○		
H29	他		月屋山という観光資源を生かすべく展望所までのアクセス整備をお願いできないか。現在は、登山口から山頂まで徒歩でのアクセスとなっており、健康な方しか登ることができない。また、観光の一環として、戦国村から月屋山までをつなぐルート作り等はできないかについても伺いたい。	建設整備課	月屋山整備を市がどこまでできるかについては、今後研究させていただきたい。			<ul style="list-style-type: none"> <li>未着手</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場入り口歩道切下げ2箇所実施した。</li> <li>登山道（里道）の階段整備を一部実施した。</li> </ul>							